

各 位

平成28年9月15日  
山形市野草園 : 山形市大字神尾 832-3  
電話 023-634-4120

## 山形市野草園からのお知らせ



### 秋の七草の一つフジバカマの花に止まり、吸蜜する渡り蝶の“アサギマダラ”

9月になるとアサギマダラが野草園のフジバカマの花にやってきます。蔵王の山々で生まれ育ったアサギマダラが南の方に移動するとき、その一部が野草園を通過していきます。アサギマダラの雄は成熟するためにフジバカマの蜜を吸う必要があります。雌を惹き付けるフェロモンを作るための必要な物質が、その蜜の中に含まれているからです。ここで十分蜜を吸ったアサギマダラは、また次の蜜を求めて南への旅に出発します。

野草園の「七草の庭」ではオミナエシやフジバカマ等の秋の七草の花が咲き誇り、渡り蝶のアサギマダラの写真を撮るカメラマンの姿も見られます。また林の中ではブラシのような形のサラシナショウマの花、野にはリンドウの青紫の花が咲き誇っています。そして、クリやナナカマドなどの樹木には、たくさんの果実が実って一層秋を感じさせます。9月の連休には「秋の野草園祭り」で、楽しいイベントを企画しています。子供達にはミニ新幹線や小馬に乗ってもらい、大人には焼き栗や餅の振る舞いなどで秋の味覚を楽しんでもらいます。是非、ご家族で来園し、野草園の秋の一日をお楽しみ下さい。

### 9月中旬～10月上旬の行事予定

◆「野草園写真コンテスト作品募集」 9/1(木)～9/22(木)

◆【東北南3県ポタニカルアート作品展】

○日 時 9/4(日)～9/22(木) 9:00～16:30 ※最終日 9/22は15:00まで

○場 所 自然学習センター内 展示室

○内 容 山形県、宮城県、福島県のポタニカルアート教室に通うポタニカルアート愛好者の作品を展示し、来園者に鑑賞して頂きます。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 『秋の野草園祭り』 9/17(土)~19(月) ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

期間中のイベントの参加費はすべて無料です。(入園料別)

◆【餅振る舞い】

○日 時 9/17(土) 11:00~ なくなり次第終了

○場 所 自然学習センター前 中央広場

○内 容 大曾根餅つき保存会による実演と体験餅つきの後、試食・振る舞い。

◆【センニチコウの苗つれせんと】

○日 時 9/17(土) 9:00~ なくなり次第終了

○場 所 料金所裏の広場

○内 容 野草園で育てた秋に咲くセンニチコウの苗を入園者、先着100名にプレゼント。

◆【焼き栗振る舞い】

○日 時 9/18(日) 10:00~12:00、13:00~15:00 なくなり次第終了

○場 所 自然学習センター前 中央広場

○内 容 焼き立ての栗の振る舞い。

◆【ミニ新幹線運行】

○日 時 9/18(日)、19日(月) 11:00~12:00、13:00~15:00

○場 所 自然学習センター前 中央広場

○内 容 東北ライブsteamクラブ須貝健二氏により中央広場で連続運行。\*雨天中止

◆【山形まるごと市】

○日 時 9/18(日)、19日(月) 10:30~15:00

○場 所 料金所の隣

○内 容 西蔵王の特産物を販売します。

◆【乗馬体験】

○日 時 9/19(月) 10:00~12:00、13:00~15:00

○場 所 自然学習センター前 中央広場

○内 容 子供はポニー、大人はサラブレッドに乗って広場のコーナーを一回りします。毎回大人気で、それぞれ先着100名(当日整理券配布) \*雨天中止

協力：山形馬事センター 関 智也氏。

◆【65歳以上 無料入園日】…9/19(月) 敬老の日の趣旨から、ご家族との来園を応援します。

◆【フリーズドライフラワー教室】

○日 時 9/24(土) 10:00~12:00

○場 所 自然学習センター ピロティ

○講 師 フラワースクールピュア 多田葉津恵 氏

○内 容 長期間保存できるように加工した花などを使ってのアレンジ作品制作。

○募集人員 一般先着20名。 費用は2400円。(入園料別)

○申込み 電話で野草園まで TEL023-634-4120

### ◆【山野草の育て方教室】

- 日 時 9 / 27 (火) 10:00~12:00
- 場 所 自然学習センター ピロティ
- 講 師 蔵王園芸店 佐藤祐一 氏
- 内 容 ユキワリソウの植え替えと育て方、ロウヤガキの鉢植えと育て方。
- 対 象 一般先着15名。 ○参加費 2,000円(材料代込、入園料別)
- 申込み 電話で野草園まで TEL023-634-4120

### ◆【西藏王観察会】

- 日 時 10月1日(土) 10時~12時
- 講 師 植物案内ボランティア 志鎌節郎氏、佐竹恵一氏
- 内 容 西藏王(桂清水方面)の植物観察 ○持ち物 長靴、雨具
- 対 象 一般先着20名 ○参加費 資料代として100円 (入園料別)
- 申込み 電話で野草園まで TEL023-634-4120

### ◆【木の実のオブジェ作り講座】

- 日 時 10月9日(日) 10時~12時
- 講 師 野草園職員
- 内 容 園内の木の实などを使ったオブジェ作り
- 場 所 自然学習センター ピロティ
- 対 象 一般先着20名 ○参加費 無料(入園料別)
- 申込み 電話で野草園まで TEL023-634-4120

### ◆【ハーブリース教室】

- 日 時 10月10日(月) 10時~12時
- 講 師 ハーブライフ&ガーデン 佐竹文子 氏
- 内 容 ユーカリなどを使ったリース作り、ハーブティーの試飲
- 場 所 自然学習センター ピロティ
- 対 象 一般先着20名 ○参加費 2,000円(材料代込み、入園料別)
- 申込み 電話で野草園まで TEL023-634-4120

### ◆【ガイドウォーキング】9月

- 日 時 9 / 17 (土)、18 (日)、19 (月)、22 (木)、24 (土)、25 (日)  
1回目10時~11時、2回目11時~12時、3回目13時~14時、4回目14時~15時
- 内 容 ボランティアガイドと一緒に園内を散策します。申し込み不要、その場で参加できます。もちろん無料です。見頃の花の場所に案内してもらい、その花の説明もしてもらえます。

## 野草園の9月後半に見られる花たち



### ウゼントリカブト(キンポウゲ科)

東北~関東の奥羽山脈等の山地帯の林内、林縁や草原に生える多年草。茎は林内や林縁に生える時は斜上して、草原に生えるときには直立するそうです。花時には根生葉と下部の茎葉はなくなるようです。名は花の形が舞楽の楽人の冠に似て、蔵王山の山形県(羽前国)側で採集されたためです。全草に毒を持っています。



### シュウメイギク(キンポウゲ科)

庭に植えたり、人里近くの林縁などに生える多年草です。古い時代に中国から入ってきた栽培品で中国では秋牡丹といわれているそうです。名は、秋に菊によく似た花をつけることによります。しかし、本種は菊でも牡丹でもなく、英名の“ジャパニーズアネモネ”が示すとおり、秋咲きのアネモネそのものです。



### センズリ(リンドウ科)

日本、朝鮮・中国に分布する越年生の1年草で、痩せた草原、路傍などに生育します。草丈は20cm程になり茎は紫色を帯び、葉は長さ5~11mm程。薄紫の線がある白い花は5深裂し、直径12~15mm程。強い苦味があり、健胃薬として有名です。古い時代にはノミやシラミを殺す殺虫剤として使用されていたということです。



### エゾリンドウ(リンドウ科)

福井県以北の山地帯から亜高山帯の草地などに生える多年草。茎の中・上部の葉は対生、まれに3枚輪生します。青紫色の花は茎のさきや葉のわきにつけ、筒状鐘形で5裂します。切り花用に栽培され、さまざまな改良型がみられます。高山形で主として茎頂のみに花をつけるものをエゾオヤマリンドウといいます。



### サクラタテ(タテ科)

水辺に生える多年草で、根茎を地中に長く伸ばしてふえる性質があります。茎は枝分かれば少なく円柱形で節がやや太いようです。葉には柄があり互生、披針形で両端はせばまっています。枝の上に長い花穂を出し、美しい淡紅色の花を開きます。萼は深く5裂し、花弁はありません。名は、花が美しくサクラのようだからです。



### リンドウ(リンドウ科)

秋の山を代表する多年草で、根茎は細く葉は緑色で、縁は細突起があつてややざらつきます。茎の頂きまたは上部の葉のわきに青紫色の花を開きます。花は鐘状で5裂し、裂片の間にはさらに副裂片があります。エゾリンドウが湿地に生えるのに対して、本種は山野に生えます。根茎と根を乾燥したものが漢方の竜胆で、煎じて健胃剤とします。名は竜胆に由来するそうです。



### オオケタデ (タデ科)

大形の1年生草本です。茎は太くて丈夫で直立し、多数の枝を出し葉とともに毛が密生します。葉は互生で長い柄があり、大形で広く卵形または卵状心臓形で先端は鋭く尖るものもあります。花は、長い花穂を出し淡紅色の小花を密生して垂れ下がります。葉は解毒薬の効用があるそうです。毛が多く大型のタデであることから名がついたようです。



### オケラ (キク科)

日当たりのよい乾いた草地に生える多年草です。花を囲む苞葉が魚の骨を並べたような形をしています。葉はかたく、ふちにこまかな刺状のきょ歯があるのも特徴です。若芽のうちは綿毛をかぶっていてやわらかく食用にされます。根を胃の薬としたそうです。名は、古名のウケラの訛といわれています。



### サラシナショウマ (キンポウゲ科)

落葉樹林内や草原などに生える多年草。茎の先に総状花序をだし、柄のある白い小さな花を密につけます。花には両生花と雄花があり、萼片は楕円形で早落します。名は晒菜升麻で、若葉をゆでて水でさらして食べることによります。根茎は肥大し、乾かしたものは生薬の升麻で解毒・解熱剤などにするそうです。



### ワレモコウ (バラ科)

山野に普通に生える多年草で、葉は互生し長柄があり、奇数羽状複葉です。小葉は5~13枚で長楕円形です。花は楕円形で、上から下へと開花します。花は花弁がなく4枚の萼片が花弁のように見えます。萼片は暗紫色で雄しべは4個で葯は黒く萼片より短いようです。名は紋所のモコウからきたものといわれています。



### キバナコスモス (キク科)

メキシコ原産の一年草。コスモスの1種ですが花色は橙色や黄色など、草丈は低め、花もコスモスより早い時期から咲き始めます。黄色の花を咲かせるコスモスの仲間なので、キバナコスモス(黄花コスモス)です。大正時代に渡来し、性質は丈夫で、真夏の炎天下でもめげることなく元気に育ち花を咲かせてくれます。



### シオン(キク科)

山地のやや湿った所に生える多年草で、本州から九州にかけて分布し、野生のものは稀です。葉は細長い楕円形で対生し、根際から生える葉には長い柄がありますが、上の葉にはほとんど葉柄がありません。頭花は花径が25～35mmほどで、筒状花は黄色く、舌状花は淡い紫色です。茎の割に花が大きく、凜とした姿です。



### ヒガンバナ(ヒガンバナ科)

人里に近いところに群生する多年草です。ラッキョウ型の鱗茎が地下にあり、外皮は黒いそうです。秋の葉がない時に鱗茎から茎を1本出し、その先に有柄の花を輪状につけます。花被は6片で細長く外側に反り、へりは縮れています。雄しべ6本と雌しべが長く出て花被と同色です。名は秋の彼岸頃に花が咲くからです。



### ウメバチソウ(ユキノシタ科)

山地などの湿り気のある日当たりのよい所に生える多年草です。根生葉は長い柄がありますが、中頃の葉は円形または腎形で基部は心形となります。数本の花茎を直立し一枚の葉と一個の花をつけます。花茎につく葉は柄がなく茎を抱きます。花は白色で梅の花に似ています。名は花が梅鉢の紋に似ているからです。



### センニチコウ(ヒユ科)

古く日本に入ってきた園芸用の草花で、庭園に植えられています。熱帯地方原産の1年生草本です。茎の先に長い花茎をだし、その先に1個の球状の花をつけます。花は色のついた翼のある2個の小苞に包まれた多数の小花からできていて、小花は普通紅色、まれに淡紅色、または白があります。名は花が長持ちするからです。



### ミヤギノハギ(マメ科)

山野に自生しますが、人家にも植えられる落葉性の低木です。茎は花が咲くころには枝先がしばしば地につくようになります。全体に絹状の伏し毛があります。葉は3出複葉で互生します。小葉は楕円形または長楕円形です。葉のわきから長い総状花序をだし紫紅色の蝶形花を開きます。竜骨弁が翼弁よりも長く鎌状に曲がります。